

会議録

会議の名称	令和3年度第4回新城市市民自治会議
開催日時	令和3年7月27日（火）午後6時30分から
開催場所	新城市役所本庁舎4階会議室
会議の次第	<ol style="list-style-type: none">1 委嘱状交付2 あいさつ3 報告 新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会の検討のスケジュール等について4 議題 新城市自治基本条例に定める地域自治区制度の新たな可能性について5 その他<ol style="list-style-type: none">(1) 第10回市民まちづくり集会(2) 若者議会（中間報告）(3) 令和3年度つながる地域と若者の輪（旧中学生議会）
欠席委員	なし

1 委嘱状交付

原田守委員に委嘱状が交付された。

2 あいさつ

委員長及び事務局から簡単なあいさつがされた。

3 報告

新城市市長選挙立候補予定者公開政策討論会実行委員会の検討のスケジュール等について

事務局から、市民自治会議から実行委員会への検討要望事項（新型コロナウイルス感染症の影響による無観客等の対応、ケーブルテレビの活用及び託児）について、実行委員会において検討し、要望に沿う方向で計画をしている旨の報告がなされた。また、実行委員会の検討のスケジュールについても報告がなされた。

会長	事務局から説明がありましたが、いかがでしょうか。確認したいこと等はありますか。
委員	開催日の1週間前に立候補予定者の参加申出の最終期限が来るのですね。そうした場合に、最初の段階で申し込んだ立候補予定者と差が出ますが、それは、遅かった本人が悪いよということで良いですか。
事務局	運営の都合もありますのでやむを得ないです。テーマ選定に関して立候補予定者の方が提案できることが最初の段階の申込みの利点ですが、テーマを決めて市民に周知をする時間が必要ですので、方法としては広報しんしろ「ほのか」の発送に合わせてとなりますが、ここはやむを得ないと考えております。
委員	実行委員会も含めた運営のマニュアル類が、今回が初めてですので完璧なものはないですが、それを検討するために実行委員会の議事録等の記録をしっかりと取ってもらって、それをもとに次回以降の要綱等の作成をして提示していただけると、この委員会で検討ができるのでありがたいです。継続的な制度として、成立するように協力したいなと思っています。
会長	ありがとうございました。ほかにはどうですか。
委員	実行委員会は公開ということでよろしいのですか。

事務局	現在公開しています。
委員	実行委員会で推薦委員が入るまでにテーマの検討を行うと思いますが、推薦委員が入るまで立候補予定者と接点は持たないですね。立候補予定者側は、基本的には推薦委員が入ってそのことを知るといふことになりますが、実行委員会が公開されるので、その前にそれを知ることができるという理解でよろしいでしょうかね。
事務局	はい。
会長	ほかによろしいですか。 最後の実行委員会で今回の検証がされますので、それが次回に引き継がれるということになりますが、実行委員会の検証結果を受けて、次の実行委員会に向けた検討を市民自治会議でも行います。

4 議題

新城市自治基本条例に定める地域自治区制度の新たな可能性について

昨年度の検討の経過について、事務局から説明がなされた。

会長	以上の説明を踏まえて、自治基本条例の中で地域自治区制度が参加の仕組みの1つとして位置付けられているので、とりわけ新城市の特徴として若い世代の参加・女性の参加というところを、ただ参加があれば良いというわけではないですが、そして地域の中の市民との協働を進めていく方向として、この委員会でも積極的に検討して議論の方向性を確認していきたいと思っています。 昨年の検討経過と今後の方向について、いかがでしょうか。
委員	この地域自治区制度というのは、始まって9年目ということですので、どのような趣旨で始めたのかということ、もう一度振り返ってみる必要があるのではないのでしょうか。 私は地域自治区制度が始まる前の年度に区長をやっていたので、区長会でも検討したと思います。そのときには、これは市役所職員の仕事ではないのか等反対が強かったような気がします。次に区長となったのが平成27年度だと思いますが、そのときはもうこの制度が当たり前になっていて、区長は必然的にこの委員に入り、PTA会長や消

	<p>防団長等普段忙しい人も委員に入れたらどうかなど、こちらの都合で参加者を募っているということも、またあったような気がします。</p> <p>ということで、どんな趣旨であったのかをはっきりさせた上で、新たな可能性を求めるといふうに進めたほうが良いのではないかと思います。</p> <p>ついでに、人口と面積で算出しているという予算額ですが、予算額が多いところは使わずに済んでしまうことが多いと思います。無理に要らないものまで予算化して使う必要はないと思いますので、それはためておいて、もっと必要なときに使うべきだと思います。それで、その算出式を教えてくださいたいです。</p>
自治振興課長	<p>今年は9年目ということで、この地域自治区制度というのが本当に皆さんにも浸透してきまして、地域自治区というのは自ら考える、自分たちで考える、変化させるということで、例えば、千郷では地域協議会の委員さんが、毎年地域協議会をどうしようかというふうに変えています。</p> <p>先程、女性が多いという話がありました。女性もPTAや子供会等に役を出していただくところもあれば、地区推薦で女性を出していただくところもあります。千郷では、委員さんを選ぶときに、昨年度、幅広く色々な話が聞けるということで、若い女性ではなく60歳以上の女性を入れる必要があるねという話をされていました。10地区でそれぞれ工夫されています。</p> <p>算出方法ですが、地域自治区の人口×500円に面積×1万円を足した金額としています。人口と面積で、金額が違いますが、最初にこの地域自治区を始めたときに、まず10年間はこの形でやりましょうとしてスタートしていますので、またこの計算式でと考えています。</p>
会長	<p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>今年が9年目ということで今までの形態でどうだったという評価をすることも重要だと思います。また、地域自治区制度がレベルアップしていくような環境作り、これからそういう検討をすると良いなど</p>

	<p>思います。</p> <p>若い人・女性がどんどん出てきていただいておりますが、私たちがそうでしたが、若い人は忙しくてそれどころじゃないような気がします。私は今、ある意味罪滅ぼしでこういうようなところに参加させてもらって、できるだけのことをやりたいなと思っています。定年退職やある程度リタイアした人たちが、地域で色々なことをしようと思っても、手法が分からないと思います。ですので、そういった方たちが協力・活躍できる場を、そこを見てもらって経験を積んでもらうという場を作るような議論をしていただきたいと思います。</p> <p>少しそれますが、ぜひとも若者議会で、中年が活躍できる場を考えてもらって提示していただければ、色々な方が協力してくれると思いますので、私の個人の思いですが、そういうような場を作るようなことを議論して、こういう制度を、生かしてもらえると良いと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>
委員	<p>そもそも地域自治区制度というのが、そのニッチなニーズに対して、どれだけフォーカスできるかというところが大事になっているかなど、参加してみて感じています。他市町村との比較で若者世代・女性が多いということですが、それだけで良くなるのかということ、そういうことではないと思います。先程の話のように60代の女性がいた方が良いねという話も大切なことだと思いますが地域協議会として、どういう人材が本当は欲しいのか、地域のニーズにマッチしなければ意味がないことだと思います。ですので、そのような実際に求められている人材を聞かせてもらえると、それをもとにして検討ができますので、よろしくお願いします。</p>
会長	<p>では、この制度を運用している行政側の考えを、もう少し出してもらって、それから会長経験者の方に若い世代が参加するメリット・期待を助言してもらいましょう。</p> <p>では、自治振興課長から特に若い世代が参加してくれるということについてお願いします。</p>

自治振興課長	<p>はい。分かりやすいかなと思いますので、私からは、若い世代が入っている地域協議会の状況をお話しします。一番若いと思うのは舟着地区です。若い女性が会長をしています。昨年度も会長が若い男性でした。舟着地区の良いところは、良いのかどうかは分からないのですが、若い人の意見を優先するということです。若い人たちが、新しいことをやろうとしているのを、目を細めてバックアップしようというふうになっています。東郷地区にもそういったところが見えると思います。</p> <p>若い方に何を望むかではなくて、若い委員さんたちが若いなりの意見を、その場に来てもらって話をするので、その場の皆の考えが変わりますし、雰囲気も良くなるというところがあります。若い人たちの思う課題というのは、視点も違いますので、新しい発見ができるという面で、比較的うまくいっているなというふうに思っています。</p>
会長	<p>具体的なものを話してもらって良いですか。</p>
自治振興課長	<p>東郷地区ですが、40歳代の人たちからの意見で、都会から東郷地区に1カ月合宿してもらい、その場合には定着率が20%くらいあるという統計を基にそういった事業をしたりしています。</p> <p>東郷中学校の裏のところで、マウンテンバイクを子供たちと大人が、一緒になって遊べるケッターパークを造りました。2026年の自転車競技のアジア大会の会場が地元の総合公園になるということで、自転車に地域の人が慣れ親しむようにと考えられたものです。この発想も若い人でないと、中々出てこないものだったと思います。</p>
会長	<p>では、地域協議会の運営をする中で、若い世代に、例えば参加してくれることで期待できること等を少し紹介をしてください。</p>
委員	<p>先程舟着の話が出ましたが、何が一番良いのかというと、会長が若いということではなく、それを支える周りの人たちが、若い人たちを盛り上げようということで、提案を理解をして支えて運営をしていることだと思います。舟着地区の区長さんと話をしたときに、そのような意思疎通を図っているということを知りました。これからは、若い</p>

	<p>世代・中年の方が中心になっていくわけですので、上の世代が受け止めていくことは良いことだと思っています。</p> <p>新城地区でそれができると言われるとまだできないと思います。それぞれの区の独自性が強く、伝統的なもの、区の成り立ちがありますので、少しずつ変えていきたいなとは思っていますが。</p> <p>委員の構成も少しずつ意識を変えて若者や女性の意見を吸い上げられるようにしていかないととは思っていますが、うまくいってはいないのが現状です。</p> <p>ただ、まちづくりのための道路の維持管理や資源回収のボランティアの団体の動きが出てきています。そういうことを地道に進めていくのかなと思っています。</p>
委員	<p>地域協議会が始まったころは、地区によりませんが区長さんがほとんどで、5年目くらいに見直しをした方が良いのではとなり、その前に女性が入ってはいましたが、その2年後に女性枠を作ろうという動きがありました。子育てで大変な中で出てくださいますのは考えものかなとも思いましたが、現在は3地区から女性が参加しています。</p> <p>年齢が上の人だけの地域協議会で決めて良いのかというふうに思い、若い人を引き出そうと。</p> <p>私は、この制度が良いなと思うのは、私の地区は隣の家に行かないといけないうようなところもあるので、人と人の関わりが少なくなる中で、色々な活動をする人とのつながりができるところで、また、活動がある程度盛り上がって来ているので、そういう人たちが地域協議会に出ないかなと。</p> <p>それと、学校の統合の際に、地域協議会の中で話ができすんわり進んだという経緯があります。</p> <p>5年・3年での見直しは必要かと思っています。また、地域協議会の中だけで決めるのでは小さいものになってしまうので、若い人たちに声をかけて意見を吸い上げようと話をしています。若い人たちからも、ぜひということがありましたので、そういう形を1回してみようと思</p>

	<p>んでいます。</p> <p>地区ごとに事情は異なると思いますが、10年目が節目になると思いますので、見直しをした方が良いと思います。</p> <p>交付金については、援助をしないと続けられない団体もあると思いますが、最高で5年までとしていて、そこまでである程度になるようにとしています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>では、数ではなく、女性が参加することのメリットや課題を話してください。</p>
委員	<p>こども園に水たまりができて送迎の際に安全な乗り降りができない状況がありましたが、それをどこに相談しても予算が付かなくて解決されませんでした。それが地域自治区予算で解決されたのですが、子育て世代や女性の本当に身近に困っていることを理解して、実施していただいたということがあったので、本当にありがたかったと思います。ただ、そこに参加しなければつながらないので、自分たち、子どもたちのためにできるだけ参加をしようと思っています。そういったことが浸透していったら良いなと思います。</p>
委員	<p>この制度が進むほど、作手の場合は自分たちで盛り上げていこう、自分たちでまちづくりをしていこうというグループが多かったと感じました。交付金をあてにするのではなく、それを活用して次のステップへ、また次のステップへ進むという感じがしました。</p> <p>今、地域協議会の中にいて思うことは、男性・女性、色々な年齢の方がいる中で意見が出ているのを見て、まちづくりというか、皆で考える地域協議会になっているなどすごく思いました。地域協議会は、色々な意見を吸収し合う場所だなとすごく感じています。私が代わったとしても地域協議会が続くと良いなと思っています。</p> <p>その中で感じたのが作手の課題で、若い人も必要ですが、これからのことを考えると、高齢者支援と公共交通と跡地が大きな課題ですが、地域協議会の中で皆がそこを把握しています。</p>

	<p>この地域協議会の中で、高齢者支援のための課題が出てきて、その後、地域協議会ではない会議の場所ができるようになりました。公共交通の件は、通学の課題について市の方に来ていただいて話をしてもらいました。跡地のことは、システムが変わってきて、もう一度見直してくれるということで、これも今までは跡地を考える会で考えてきて何ともならなかったことが、少しずつ地域協議会のメンバーや若い人が入ってきたことによって、一步踏み出せるようになったとすごく感じています。</p> <p>地域協議会の位置付けが、そのような場所になるのではないかなと思っていて、若さや男女関係なく、意見を出し合ったりする場所ということで、地域のまちづくりができるのではないかなと思いました。本当に高齢化で、特定のグループや若者に任せるのではなく、全体で取り組んでいかなければならない地域になりました。ここで教えてもらったことが、自分たちで稼ぐまちづくりということで、そういったことを考える場所として、地域協議会・地域自治区制度があることによって進んでいけるということをすごく感じています。ですので、作手の場合は、若さや男女の関係なく、そういう場合じゃないと思っています。</p>
会長	<p>ありがとうございました。若い委員さんに感想等をいただきたいと思います。</p>
委員	<p>一番思ったのは、今まで私は、新城市に住みながらまちづくりに関わるという当事者意識が全くなくて、なのでこういう制度を詳しくは知らなかったのですが、一生懸命考えている大人がいたから今の新城市があって、私も幸せに暮らせているのだとすごく思いました。</p> <p>私が当事者意識がなかったという点は、私だけではなく周りの若者も結構そういうふうだと思います。若者議会や地域協議会への壁がすごくあるのでもう少し自由に、若者議会も私は入ることにハードルがあって、知識や経験がないので、入ったところで役に立てるのか、意味があるのか、自分にとってはプラスですが市にとってはプラスにな</p>

	<p>るのか、そういうふうに思ってしまう。</p> <p>若者や子育てをされている女性が、入りやすい、意見が言える、そういう仕組みがあればと思いました。</p>
委員	<p>私も若者議会出身で、他のものに参加する機会もありました。勤めが豊川ですので、帰ってきて、また朝に仕事に行くというだけの場所にどうしてもなってしまうので、私も罪滅ぼしではないですが、何かできることはないかということで、学生のと時から、若者議会からスタートしています。そこで、入らなければ知り合うことがなかった人と出会い、今でもSNS等でつながっていて交流ができたりと、つながりができたということがあるので、市の財政を使う場ではありますが、こういう場が継続して必要だなと思います。</p> <p>ただ、自発的に進んでいけば、知ることができるし、体感もできるのですが、先程言われたように、友達も多分知らない人のほうが多いと思います。色々動いて頑張っているねと言われるだけで、私も一緒にやろうよというリーダーシップはないので、東郷や舟着のようなロードバイクや活性化の事例、成功例を、より砕いた言葉で楽しい紙面等でWEBにあると、自分も行ってみようかなと思えるのではないかなと思いました。</p> <p>こども園の駐車場の話も、身近なことを言える場所だと改めて思いました。</p> <p>家族もまた集まりがあると実際言っているのですが、忙しい中で顔を出さなくてはいけないというのももちろんありますが、なくなってしまうと、結局市の人頼みになってしまって、選挙と同じで投票したから自分にも責任があるような、参加した以上は責任が自分にも生まれています。自分が結婚して子育てををするとしても、人のつながりが今はあるので、また出してみようかなと将来的につなげていくと思うので、事例をこういう場やほのか等で、地域自治区制度という文字だけ見ると分からないので、具体的な成功例を発信してもらえると次につながって、この制度を活用してのまちづくりを活発にしていこう</p>

	<p>ところにつながるのかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。新たな可能性というものを考えていくとても良いヒントを皆さんが出してくれています。まだ、発言されていない若い方に。</p>
委員	<p>初めに思ったことですが、まず敷居がすごい高いなと思いました。文字を見ただけで難しそうで、参加者も区長や色々な活動をたくさんしている方が入って、若い人たちが入る場ではないなと話をする前は思っていました。先程言われたように、駐車場の話は色々なところに言っても実現しなかったものが、地域協議会で意見を吸い上げてもらって実現できたというのはすごいなと思ったと同時に、こういう意見のある人がたくさんいるのではないのかと思いました。</p> <p>ですので、若い人に活躍する場があるよと、要望のある人にこういう場があるよということを、ほのか等で大きく公表していくと良いと思います。</p> <p>若者議会を経験した人で意欲はあるけどそれ以降活動をしていない人に紹介をしていくと、より良い意見や視野が広がるのかなと思いました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。皆さんの意見を聞いてどう思われましたか。</p>
委員	<p>地域自治区ができるときには、反対の声が強かったように思います。こういうことって面倒ですからね。でも、民主主義を実践することは面倒なことなんだと思います。面倒な時間を、皆が少しずつ出して、つなげて、皆で作りたいものを作る、形にするというのが、地域自治区のしていることかなと思います。</p> <p>地域によって課題は違いますが、行政の仕事としてやる時は一律・公平がすごく強くなると思います。ただ、それぞれの地域で考えると、地域の需要に応じた話ができますので、そういうことを話し合う場、そういうことを実践するための準備をする場となって、こども園のようなより身近な要望を自分たちで決めて実現することができ</p>

	<p>ます。</p> <p>こども園の駐車場の話も、家の男性陣に話をすると大したことがないと言うと思います。けれども、そういう中で普段の生活をするのが自分の家族だと思ったときには、もう少し違うことが出せると思います。小さなことであってもその人の生活にとっては大変だと思えると思います。</p> <p>この制度が完璧で、全て良いとはいえないですが、改善していくことができる制度かなというふうに思って聞いていました。</p> <p>もう9年目ということなので、見直しをして、情報の共有をして、勉強をして、成功例があれば見せてもらう、そのようなことをしていく時期かなと思っています。</p> <p>自治基本条例は、5年で見直しですが、地域自治区は期間が具体的に書かれていません。皆で考えて将来地域協議会に参加される方がやってよかったねと言えるようになっていくといいなと思います。これから知恵を出して提案していけたらと思います。</p>
委員	<p>具体的な例も交えてすごく良い意見をいただいたと思います。やっぱり女性の力というのはすごいなと。</p> <p>世の中がお年寄りの政策に偏っていますが、それを逆にしていくことによって、持続可能になると思っています。そのために若者の参加の仕組みを若者議会という形でつくっています。色々な世代が集う仕組みを地域自治区で作っていて、それをどうやって運営していくかというのが、今後の課題かなと思っています。</p> <p>女性議会もそうですが、その3つが合わさって、地域自治区の1つものものに集約されて進んでいくというそういうイメージをしています。</p> <p>若者議会で、若い人同士の意見があります。また、女性は女性の集いがありますので、そこを集約していくのが、地域協議会かなというイメージをしました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p>

	<p>では、自治振興課長から今日配付された資料の説明をお願いします。</p>
<p>自治振興 課長</p>	<p>では、私の方から説明させていただきます。</p> <p>現在、地域協議会の会長さんには、話をさせていただいているもので、新しい地域協議会の取組の提案です。現在、地域協議会では、地域自治区予算を検討していく時期で、何度も集まって検討をしていますので、それが終わった秋以降に検討しよう等色々な地域があります。</p> <p>地域自治区制度の現状ということで、地域自治区制度は9年目を迎え、地域活動交付金や地域自治区予算の効果も現われています。また、全地域自治区で地域計画が策定されました。さらに、それぞれの地区の中で自家用有償運送や地域食堂等の新たな取組が始まっています。</p> <p>次に、地域自治区制度の定着と新たな動きということで、地域協議会に関わった方が、課題解決のため、活動団体を作って新たな取組を始めてくれています。</p> <p>次に、新たな課題ということで、地域活動交付金と地域自治区予算を制度としていて、中長期的な地域計画での運営となっております。計画を作成したのは地域協議会の委員さんですが、地域協議会は協議機関であって実行機関ではありません。そこで、計画推進の担い手・計画推進実行組織の設置が必要になるのではないかとということが、今の課題になっております。そこで、1年限りではなく中長期的に地域を運営できる組織と人材を育てることが、これから必要になるのではないかと意見が出始めております。</p> <p>次に地域自治区の将来像ということで、その課題を解決するために地域マネージャー（地域運営組織）を考える必要があると思っています。地域運営組織のイメージは、行政区や公民館等の地域の組織や市民活動団体が連携して活動をしたり、地域計画の運営をしていく組織で、組織の中心にいる人たち・マネージャーという意味です。大ざっぱに言うと、地域計画に沿った地域自治区の事業を推進していく事務</p>

	<p>局組織です。</p> <p>今後、法人化をすれば、財産の主体となり、商売もできるということで、投げかけをしている状態です。</p> <p>地域協議会から地域マネージャーを選任して、地域計画の推進を地域マネージャーに委任をします。そして、地域マネージャーは、その結果を地域協議会に報告します。</p> <p>2年前に八名の全活動団体の状況を地域協議会で聞いたことがあります。そのときにコスモス迷路の団体から、黒字だけれど続けることができないという話がありました。このような場合に、地域マネージャーがいれば、横との連携等をつなげて事業を継続させることができるのではないかと考えています。また、人口減少や行政区の統廃合等色々な話がありますが、この組織が区長さんの事務の一部を、例えば、コピーや物の配布ができればということで話をさせていただいています。</p> <p>それぞれの地域協議会・地域自治区の方で、どうしても導入してほしいとは言っておりません。御検討くださいということです。必要であれば、準備組織を作って市と連携をしながら考えていきたいということで、会長さんに説明させていただいています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>地域自治区制度も色々と考えないといけないことが出てきています。市が地域協議会の会長さんに問題提起をして検討を始めたということを提供しました。</p> <p>特に今日大事だったことは、皆さんの話で、これから地域自治区制度をどう生かしていくべきなのか、地域自治区制度で色々なことができますが、それが本当に切実なことを考えている人に十分に届いてないんじゃないのかということ、参加してみようと思う市民はたくさんいて成功例をもっと発信することでその参加を促進すること等の話題の提供いただきました。</p> <p>まだまだ、色々な観点がありましたので、今日いただいた意見を一</p>

	<p>度整理して皆さんにお返しします。そして、場合によっては、そこから他の自治体の地域自治区の運用を情報収集しても良いでしょうし、さらに踏み込んで検討していった良いと思います。</p> <p>それでは、本日の議題はここまでにします。</p>
--	--

5 その他

(1) 第10回市民まちづくり集会

日時：9月4日（土）午後2時から午後4時まで

方法：Zoomによるワークショップ

テーマ：あなたの目指す新城市～あなたの夢を教えてください～

広報しんしろ「ほのか」に返信用のはがきを載せ、意見募集を行う旨の説明が事務局からなされた。

(2) 若者議会（中間報告）

日時：8月23日（月）午後7時から午後9時まで

場所：市役所本庁舎4階会議室

内容：政策中間報告・意見交換

(3) 令和3年度つながる地域と若者の輪（旧中学生議会）

対象：東郷中学校

参加者：2年生8名・1年生1名

内容：勉強会 7月18日（日）

地域課題の検討（第1部） 8月5日（木）

地域協議会との意見交換（第2部） 8月22日（日）

閉会